

第21回 甲賀市美術展覧会 入賞入選者名簿

【会 期】 令和8年2月21日(土)～3月1日(日)

※2月23日(月)は休館

【展覧時間】 10:00～16:00(最終日は15:30まで)

※入場は15:30まで(最終日は15:00まで)

【会 場】 工芸・立体、書 甲賀市あいこうか市民ホール展示室
平面、写真 甲賀市碧水ホール

【主催】 甲賀市／甲賀市教育委員会／甲賀市美術展覧会実行委員会

【後援】 甲賀市議会／読売新聞大津支局／毎日新聞大津支局／朝日新聞大津総局／京都新聞

産経新聞社／中日新聞社／NHK大津放送局／ NHK **びわ湖放送**

甲賀ロータリークラブ／水口ライオンズクラブ／(公社)水口青年会議所

審査員

(部門別五十音順・敬称略)

平面

黒光 茂明
佐渡 一清

工芸・立体

西郡 公
藤井 収
丸山 敦子

書

伊藤 南邨
阪口 大儒

写真

木村 充宏
橋本 健次

部門	平面	工芸・立体	書	写真	合計
応募総数	71	41	30	75	217
入選(入賞)	71(13)	41(10)	30(8)	75(14)	217(45)
審査員、無鑑査、実行委員	5	7	8	7	27
展示合計	76	48	38	82	244

1. 「番号」は、各部門の受付順ですが、受付番号とは異なる場合があります。
2. 奨励賞(甲賀ロータリークラブ賞、水口ライオンズクラブ賞、(公社)水口青年会議所賞)について
奨励賞は高等学校、特別支援学校高等部の学生、18歳以下の方を対象とする賞です。
3. 展示作品の撮影について
 - ・撮影不可の作品・・・審査員作品、いこか作品、撮影禁止の表示がある作品
 - ・撮影可の作品・・・上記以外の作品
 - ・撮影にあたっては、他の来場者の鑑賞を妨げる行為がないようご配慮ください。
(三脚使用、フラッシュ、シャッター音の連続、作品への接写等)
 - ・展示作品、会場設営物品等への接触がないよう、ご注意ください。
 - ・来場者など個人が特定できるものが映り込む場合は、本人の了承を得てください。
 - ・撮影した行為、内容について問題が発生した場合は、撮影者の責任において対応してください。

平面部門 審査評

審査員 黒光 茂明、佐渡 一清

【総評】

自分が感じ考えた世界を水彩画、油彩画、墨絵、切り絵など、様々な形式で平面に表わすことを真摯に追究されている力強い作品が数多く見受けられる良い展覧会になりました。どこかで見た作品を真似るのではなく、自分で考え生み出した良さを感じる作品に好感を持ってました。 《佐渡》

◆甲賀市展賞 『大樹』 堤 智恵美

主張が明確で力強い作品です。質感、重量感を水墨調のモノクロームで表現され、見応えある作品です。この作品は、水墨画*水彩紙*日本画・・・といった領域にこだわらない画材の巧みな使い方で、魅力的な画面となっています。 《黒光》

◆甲賀市議会議長賞 『涼風』 松浦 暁子

染められた帯状の布が風に少し糊引きながら、自らの影を地面に落としている。カラフルな色相と無彩色のコントラストが色彩的に美しい。又、鋭角的な色面を単純な地面の緑色と空の青色に配置する構成の見事な作品です。 《佐渡》

◆甲賀市教育委員会教育長賞 『木漏れ日の遊歩道』 黒川 重信

緑の木々と遊歩道を浮き立たせる木漏れ日・・・その中を散策する人たち、穏やかな空気や光がよく表現出ています。 《黒光》

◆毎日新聞社賞 『雑踏のコンコース』 杉本 直樹

駅構内の巨大空間を、構成物を丁寧に描写することで見飽きない密度のある作品となりました。又、遠方の赤と手前の黄色が他の部分の灰色がかった雰囲気アクセントを与え、絵が生き活きしています。

《佐渡》

◆産経新聞社賞 『やさ』 大原 健

一人の老婆が何げないポーズでこちらを見ている日常によくあるシーンを、時の経過を感じさせるセピア色で、全体の主調色を留めたところに味わいを感じます。下地になっている茶色を上手く生かし、明度差のあるグレーのみで人物を描き出す力量を感じる作品です。 《佐渡》

◆佳作 『溪流』 笹尾 康

水墨画でよく描かれる題材ですが、墨の濃淡の階調、岩の重量感とほとばしる水の白さ・・・異質な対比を水墨画の特徴を生かした作品です。 《黒光》

◆佳作 『夕暮れ』 近藤 睦子

夕闇の中にイルミネーションの明りを求めて人々が出かけていく様子を全てシルエットで捉える単純化した造形が面白く、現代的な表現を感じます。 《佐渡》

◆佳作 『花のあとに』 墨田 きぬ子

爽やかな季節を、蓮の葉の繁る様子を描くことで感じられるものとなりました。右下に水面と葉の映り込みが描かれ上手い構成になっています。 《佐渡》

◆佳作 『砂漠の夜明けに (モロッコ)』 曾和 久子

切り絵の持つ白黒の良さが充分でている作品です。砂漠の駱駝が逆光の中に浮かび上っているシーンをとらえたのも着想が良かったかと思います。 《佐渡》

◆佳作 『黄昏の湖』 間宮 伊都子

刻々と変化する夕日、それを受けて光る湖面。その中で、樹影が逆光で浮かび上がる様子を楽しんでよく描かれています。 《黒光》

◆佳 作 『石畳の坂道』

林 潤一

海面に向かって下って行く坂道の街が適格な構図で描かれ、今にもこの道を下って海辺に行きたくなるような気持ちをそそる秀作です。 《佐渡》

◆佳 作 『桂門』

野村 晴代

爽やかな風が吹き抜ける樹林。年月を経た木々たちの語らい・・・清々しい空気感が表現出来ています。 《黒光》

◆奨励賞（甲賀ロータリークラブ賞） 『ハチドリの』

大谷 沙椰

映像・画像などで見たことのあるシーンですが、色の出し方、全体の空気感のまとめ方にセンスを感じます。 《黒光》

平 面

番号 賞	作品名	氏名	備考
	春宵	黒光 茂明	審査員
	輝	佐渡 一清	審査員
1	岐阜・信長の庭	木下 喜宏	甲賀市 水口町
2	漁港の屋下がり	中井 寛一	甲賀市 甲賀町
3	仕事終わりに	北野 善將	甲賀市 甲南町
4	祭りの日	宮治 喜久美	甲賀市 水口町
5	収穫した かぶら	林 和子	湖南市
6	無人駅	小嶋 千都子	甲賀市 水口町
7	翡翠	野崎 かおる	湖南市
8	柿	大澤 育子	甲賀市 甲賀町
9	廃村の茨川を訪ねる	岸山 平	蒲生郡 日野町 (甲賀市内サークル)
10	松に雀	今村 行延	甲賀市 水口町
11	清天下のうたた寝	佐々木 佑真	信楽高等学校
12	りかこ どりーみん	頓宮 由佳	信楽高等学校
13	いっしょに初詣	横井 はるか	信楽高等学校
14	大切	林田 和	信楽高等学校
15	甲賀ロータリークラブ賞 ハチドリの	大谷 沙椰	信楽高等学校
16	毎日新聞社賞 雑踏のコンコース	杉本 直樹	甲賀市 甲南町
17	船だまり	帷子 博子	甲賀市 甲南町
18	初夏を奏でる	坂上 秀機	甲賀市 水口町
19	鳥が舞う自由の世界	讃岐 英知	甲賀市 水口町
20	浴衣の女	福澤 昭吉	甲賀市 水口町
21	美山の冬	三日月 統治	甲賀市 甲賀町
22	落ちたネットの上で	桐山 和子	甲賀市 甲南町
23	日本一危険なお寺 投入堂	森 茂樹	甲賀市 甲南町
24	竹藪と水仙	武田 修平	甲賀市 甲南町
25	龍門(富川)摩崖仏にて	松岡 富治	甲賀市 甲賀町
26	大安	脇本 百香	湖南市
27	お寺の藤	富田 昌俊	甲賀市 甲賀町
28	ニャルソック	西田 ユリ子	甲賀市 水口町
29	午後の菅浦	木田 裕計	甲賀市 水口町
30	夏を収穫	守田 淳子	甲賀市 水口町
31	静寂なる午後	西村 京子	甲賀市 水口町
32	日本海の奇岩	村田 憲司	甲賀市 水口町
33	笑門来福	鎌田 和江	甲賀市 甲賀町
34	夫婦岩と富士山(夏至の頃)	中村 元貞	甲賀市 水口町
35	牧場の朝	山下 久美子	甲賀市 水口町
36	甲賀市教育委員会教育長賞 木漏れ日の遊歩道	黒川 重信	甲賀市 土山町
37	こだまする峡谷	竹内 哲勉	甲賀市 水口町
38	Satellite Imagery No.11	林 和広	甲賀市 水口町
39	船だまり	早川 文子	甲賀市 水口町
40	甲賀市議会議長賞 涼風	松浦 暁子	甲賀市 甲賀町

番号 賞	作品名	氏名	備考
41	Soarer	林田 明日香	水口高等学校
42	Ocean	アムラオ アレサンドリア	水口高等学校
43	庭の片隅に……	山本 光子	甲賀市 水口町
44 佳作	溪流	笹尾 康	甲賀市 水口町
45	商いへの吊橋	三雲 喜太郎	甲賀市 水口町
46	PAIN 2025	柳原 明敏	甲賀市 甲南町
47 佳作	夕暮れ	近藤 睦子	甲賀市 水口町
48 佳作	花のあとに	墨田 きぬ子	甲賀市 水口町
49 甲賀市展賞	大樹	堤 智恵美	甲賀市 水口町
50 佳作	砂漠の夜明けに(モロッコ)	曾和 久子	甲賀市 水口町
51	静寂	古谷 節子	甲賀市 信楽町
52	そびえ立つ(伊賀上野城の石垣)	田中 米子	甲賀市 甲南町
53	アンティークショップ	杉本 伊三郎	湖南市
54	神社で礼装	日田内 泰子	湖南市
55	守り人	杉本 洋二	湖南市
56	生命	田中 たみよ	湖南市
57	廃屋	寺本 章恵	湖南市
58	弁天池の睡蓮	鳥本 きみえ	甲賀市 水口町
59	ノイシュヴァンシュタイン城の冬の景色	山本 徹	甲賀市 土山町
60	球道無窮	原田 和泉	甲賀市 水口町
61	古民家の中で	西川 秀子	湖南市
62	警告(争いよりも花束を)	中嶋 雄司	甲賀市 甲南町
63 佳作	黄昏の湖	間宮 伊都子	湖南市
64	懸崖の街	黒川 一美	甲賀市 甲南町
65 佳作	石畳の坂道	林 潤一	甲賀市 信楽町
66	おいしさ凝縮中	山本 和子	蒲生郡 日野町 (甲賀市内サークル)
67	朝霧	島田 明美	甲賀市 信楽町
68 佳作	桂門	野村 晴代	湖南市
69	茅葺の郷	米谷 英敏	湖南市
70	夢を追いかけた時	つちやま みちお	甲賀市 土山町
71 産経新聞社賞	やさ	大原 健	甲賀市 土山町
	金勝寺	関谷 勇	甲賀市 水口町 実行委員
	白馬早春	畑野 啓造	甲賀市 水口町 実行委員
	夏蜜柑	はまうらあつこ	湖南市 実行委員 無鑑査

工芸・立体部門 審査評

審査員 西郡 公、藤井 収、丸山 敦子

【総 評】

今回、大胆で個性的な作品に心引かれ、市民の文化への思いがうかがえました。来年も良き作品をお待ちしています。 《西郡》

此の度、甲賀市美術展覧会の工芸・立体部門の審査を担当しました。久し振りに工芸のバラエティ溢れる、自由な発想と表現に触れる機会接しられ若返った気持ちです。 《藤井》

一点一点、思いを込めて制作されている作品が多く、技術的にも素晴らしい方が多い印象を受けました。サイズや作品の見せ方について、細部まで工夫されると、さらに引き立つと思います。 《丸山》

- ◆甲賀市展賞 『「車窓」』 野口 幸子
夕焼けの中、車が走り抜けていく情景が伝わってきます。ステッチによる繊細なアレンジも、とても上手に表現されていると思います。 《丸山》
- ◆甲賀市議会議長賞 『達磨大師』 中森 敏樹
素材との出会から制作が始まったと思いますが、炎で焼き独特の重厚感と、違和感の無い色調に力強く仕上がり、作者の思惑にマッチした感が伝わりました。 《藤井》
- ◆甲賀市教育委員会教育長賞 『刻ノ容』 桐生 恵叶
ユニークな作品であり創作の形にたのしく見させていただきました。これからも若さでいろいろと挑戦して下さい。 《西郡》
- ◆京都新聞賞 『楽しんで～パラダイス!!』 大町 佳宏
大きく思い切りの良い題名通り楽しんで作られていると思います。これからも創意創作でより良い作品を作って楽しんで下さい。 《西郡》
- ◆NHK大津放送局長賞 『和紙ちぎり絵 緑輝く』 大西 千恵子
作品を見て、日本画かなと間違うほどの緻密な見事な仕上がりです。構図的には問題ないと思いますが、サイズが4倍程の大きさになれば、尚良かったと感じました。 《藤井》
- ◆佳 作 『オオワシ』 山崎 壽明
今にも翼を広げて飛翔する気配を感じる。木を素材に、緻密に彫り出された作品である。鷲の姿形を、極めてリアルに表現したものと推察するが、次にはもう少し大きさを期待したい。 《藤井》
- ◆佳 作 『信楽焼扁壺』 木田 裕計
穴窯での作品ですが、形と色がもう少し創作的なものであれば良いと思います。楽しんでおもしろい作品づくりに期待しております。 《西郡》
- ◆佳 作 『妙心寺 雲龍図』 坂上 隆史
素材の竹を広げてフラットな状態にして、デザイン通りに彫る作業は、かなりの忍耐力が必要と想像します。更に続けて素晴らしい作品の制作を継続して下さい。 《藤井》
- ◆佳 作 『和紙ちぎり絵 夏を見つめて』 奥田 永子
ひまわりの花びらの微妙な色合いが、夏らしさを上手に表現していると思います。構図をよりダイナミックにされていかれると良いと思います。 《丸山》
- ◆奨励賞 ((公社)水口青年会議所賞) 『抜魂』 古川 アルマ
青色がとても美しい作品ですが、色の濃淡をつけられると表現の幅が広がるのではないのでしょうか。魂が抜けていく表現が面白いと思いました。 《丸山》

工芸・立体

会場: あいこうか市民ホール

番号	賞	作品名	氏名	備考
		青釉 氷裂器	西郡 公	審査員
		希の刻	藤井 収	審査員
		Recycle Town III	丸山 敦子	審査員
1		白秋	内藤 三保子	甲賀市 水口町
2	NHK大津放送局長賞	和紙ちぎり絵 緑輝く	大西 千恵子	甲賀市 信楽町
3		和紙ちぎり絵 水きらめく	福山 節子	甲賀市 信楽町
4		光と影の龍「Dragon of Light and Shadow」	齋藤 由香	甲賀市 甲賀町
5		シーサー	山田 尚治	甲賀市 水口町
6	佳作	オオワシ	山崎 壽明	甲賀市 甲南町
7		破れ茶碗令和六年一月一日	笠 博晶(兜 義就)	甲賀市 信楽町
8		生命の指輪	加藤 彩加	甲賀市 水口町
9		タオ	コユキ	甲賀市 水口町
10		十二干支馬	村山 和夫	甲賀市 甲賀町
11	甲賀市展賞	「車窓」	野口 幸子	甲賀市 信楽町
12	佳作	信楽焼扁壺	木田 裕計	甲賀市 水口町
13		心を覗く	坂上 秀機	甲賀市 水口町
14	佳作	妙心寺 雲龍図	坂上 隆史	甲賀市 水口町
15		ねこだるま	吉川 泰牙	信楽高等学校
16		トイレの悪夢	古市 裕人	信楽高等学校
17		バレンタイン プレゼント	谷口 美結	信楽高等学校
18	(公社)水口青年会議所賞	抜魂	古川 アルマ	信楽高等学校
19		びわこ大なまず 花入	杉本 栄太郎	大津市 (甲賀市内通勤)
20		炭化流形花器	飯田 誠太郎	甲賀市 甲南町
21		ゴリラ	黒川 重信	甲賀市 土山町
22		はばたけ	三河 民枝	甲賀市 甲南町
23	甲賀市議会議長賞	達磨大師	中森 敏樹	甲賀市 信楽町
24		若武者	井藤 美知	甲賀市 甲南町
25		和紙ちぎり絵 ミモザ(少女)	大西 さかえ	甲賀市 信楽町
26		花器 緑陰	鶴田 章則	甲賀市 甲南町
27		リフォーム検討中(イルミネーション有り)	古谷 節子	甲賀市 信楽町
28		「わし、かて休みたい」(ゴリラの彫刻)	安田 佐登志	甲賀市 信楽町
29		向日葵	嶋本 菜穂子	甲賀市 甲賀町
30		瓢箪地藏の祠	大澤 芳彦	湖南省
31		芽吹きの木花入れ	清水 照代	湖南省
32		花器 龍 手作りの花台の上に	林 節子	甲賀市 甲南町
33		和紙ちぎり絵 花とベアカップ	石野 きよ子	甲賀市 信楽町
34		和紙ちぎり絵 帽子とガラスの花瓶	中村 敬子	甲賀市 信楽町
35		竹灯籠 『より遠くへ』	澤井 繁治	甲賀市 甲賀町
36		尺八掛け(知足)	黒川 一美	甲賀市 甲南町
37		和紙ちぎり絵 奴江戸兵衛 難波屋おきた	平尾 小代子	甲賀市 信楽町
38	佳作	和紙ちぎり絵 夏を見つめて	奥田 永子	甲賀市 信楽町
39		愛をこめて	青木 敦子	甲賀市 信楽町
40	甲賀市教育委員会教育長賞	刻ノ容	桐生 恵叶	甲賀市 信楽町
41	京都新聞賞	楽しんで～パラダイス!!	大町 佳宏	甲賀市 甲南町
		焼締花入	渡辺 耕造	甲賀市 水口町 無鑑査
		浪切 不動明王	橋本 康彦	甲賀市 信楽町 実行委員
		春先	望月 眞寸男	甲賀市 甲南町 実行委員(無鑑査)
		叫び	山下 竹雄	甲賀市 甲賀町 実行委員

書部門 審査評

審査員 伊藤 南邨、阪口 大儒

【総 評】

様々な書体、書風での出品作。古典的なものから現代的なものまで、変化ある作品群に感動しました。今置かれている環境を大切に、今しか書けない書にもチャレンジしてください。古典は当時の「今」の作品なので・・・今後の書作を楽しみにしています。 《阪口》

- ◆甲賀市展賞 『一望無垠』 田口 真璃子
高いところからの落筆、身体全体を使って運筆され、迫力ある作品となりました。観者を引きつける熱量が高い秀作。 《阪口》
- ◆甲賀市議会議長賞 『養鷺池古りて・・・』 浦田 蒼園
文字の大小をつけ、確実な筆致で、古典の修練が感じられる良い作品となっています。 《伊藤》
- ◆甲賀市教育委員会教育長賞 『「方丈記」 鴨長明より』 三木 憲治
方丈記の一節を軽やかに淀みなく、美しく書きあげた作品です。 《伊藤》
- ◆朝日新聞社賞 『飲湖上初晴後雨』 関 純一
硬さがありますが強い線質で、文字の大小はありませんが、最後まで一貫した作品です。 《伊藤》
- ◆びわ湖放送株式会社賞 『月光微韻』 三日月 彩香
余白を生かして文字集団を作りながら诗情豊かに表現されています。後半の処理がよく、余韻が感じられる。 《阪口》
- ◆佳 作 『鷲馬十駕』 田中 千秋
奇抜さがありますが、四字に大小をつけた作品となっています。 《伊藤》
- ◆佳 作 『尋春花』 西谷 萌華
墨量多く、渴筆をうまく使い、多少強い部分がありますが、視覚に迫る作品となっています。 《伊藤》
- ◆佳 作 『島崎藤村の歌より「波」』 成松 綾子
淡墨で大きく「波」を書き、そこへ「椰子の実」の詩を添え書きされている。大字と小字のコラボがおもしろく、詩文の情景が浮びます。 《阪口》

書

会場: あいこうか市民ホール

番号	賞	作品名	氏名	備考
		于武陵詩勸酒	伊藤 南邨	審査員
		坂本龍馬の言葉	阪口 大儒	審査員
1		新年	大森 咲希	甲賀市 土山町
2		九成宮醴泉銘	山本 篤之	甲賀市 甲賀町
3		藤原為家の歌	松瀬 紅萌	甲賀市 水口町
4		夏日	山添 信石	甲賀市 信楽町
5		繞樹歸雲蔵宿鳥	堀内 千代美	甲賀市 甲南町
6	びわ湖放送株式会社賞	月光微韻	三日月 彩香	甲賀市 土山町
7	佳作	驚馬十駕	田中 千秋	甲賀市 水口町
8		山	吉川 温子	甲賀市 甲賀町
9		静眞興無盡劇談歡有餘	山口 晴美	甲賀市 甲南町
10		漢詩句	笹尾 康	甲賀市 水口町
11		般若心経	藤井 蒼泉	甲賀市 水口町
12	甲賀市教育委員会教育長賞	「方丈記」鴨長明より	三木 憲治	甲賀市 甲賀町
13		漢詩	奥嶋 椿山	甲賀市 甲賀町
14		小野小町の「うた」より	荒井 恭子	甲賀市 甲南町
15	朝日新聞社賞	飲湖上初晴後雨	関 純一	湖南市
16		戴復古の詩	徳野 宣子	甲賀市 水口町
17		漢詩句	芥川 朋子	甲賀市 水口町
18	佳作	尋春花	西谷 萌華	甲賀市 甲南町
19		つれづれ草	池ノ内 育子	甲賀市 水口町
20		漢詩句	松岡 満理代	甲賀市 甲南町
21		漢詩句	藤澤 月羊	大津市 (甲賀市内教室)
22		漢詩句	市岡 恵子	甲賀市 水口町
23	甲賀市展賞	一望無垠	田口 真璃子	湖南市
24	佳作	島崎藤村の歌より「波」	成松 綾子	湖南市
25		遊印	黒川 陶泉	甲賀市 土山町
26		蘇東坡の句	種村 桃園	甲賀市 水口町
27		刻字「夢」	黒川 一美	甲賀市 甲南町
28	甲賀市議会議長賞	養鷺池古りて……	浦田 蒼園	甲賀市 水口町
29		十国峠源実朝歌碑	廣澤 蒼月	甲賀市 水口町
30		寿	堀田 七寿	甲賀市 土山町
		雪後	臼田 雅湖	甲賀市 甲南町 無鑑査
		春如海	大野 秀子	甲賀市 水口町 無鑑査
		慈恩塔に題す	黒川 清祥	甲賀市 水口町 実行委員
		漢詩句	橘 梢香	甲賀市 水口町 実行委員(無鑑査)
		春眠、暁を覚えず	村尾 弘富	甲賀市 水口町 実行委員
		傳教大師	山崎 遊心	甲賀市 水口町 実行委員

写真部門 審査評

審査員 木村 充宏、橋本 健次

【総 評】

今回も風景写真を中心に祭事など素晴らしい写真の応募がありました。甲賀市、湖南市のレベルの高さを感じました。次回もさらに高画質の作品を期待します。 《橋本》

◆甲賀市展賞 『大人と一緒に頑張るぞー』 山本 靖幸
ふんどし姿に魅力を感じます。大人にまじって子供たちが主役の祭事のシーンです。数人の子供がおたけびをあげている。一生の思い出になるでしょう。 《橋本》

◆甲賀市議会議長賞 『ここから見る秋』 中森 ますみ
落葉が主役になるアングルで、奥行きのある作品になりましたね。ツタの紅葉はツルが枯れてしまうのですが、よく残ったところを探されたと思います。 《木村》

◆甲賀市教育委員会教育長賞 『気嵐湧く自然湖』 服部 眞美子
立枯れした木の数はかなり減りましたが、それでもなお多くの自然の美しさが残っています。気嵐はめったに見られない光景です。 《橋本》

◆読売新聞社賞 『終の棲家』 浮田 千草
廃車に描かれた男の子の顔が悲しそうです。何でこんな所で。もっといろんな所へ行って走って見たいな一と言っているようです。 《橋本》

◆中日新聞社賞 『静寂の番人』 宮永 富士子
象牙に見える倒木のバランスの構図が面白いですね。雪が残っていたことで、画面にメリハリが出たのも良かったと思います。 《木村》

◆佳 作 『帰路』 平田 永文
馬の調教が終わり宿舎に帰る時のシーンでしょうか。背中に薄い光があたっています。少し悲しそうですが、馬との絆が伝わってきます。 《橋本》

◆佳 作 『襖ぎ』 山田 幸子
蓑で覆ったパンツ姿の男衆が印象的で、不思議な姿です。逆光で写された事で水の冷たさが写りました。まさに寒の行です。 《橋本》

◆佳 作 『神に捧ぐ』 木村 実
神事のシーンだと思えますが、どろんこになって何か戦っているような姿が異様な感じで迫力が出ました。 《橋本》

◆佳 作 『雨柱』 安井 正宜
雲の表情、水面の光、稲妻、最高の瞬間が撮れましたね。色のトーンも整理できていて、じっくり見られる作品です。 《木村》

◆佳 作 『みのりを夢みて』 野口 泰子
題材が面白いですね。日本の原風景、ほっとします。子供が手伝っていたり、それぞれ違うシーンを組み合わせるのが良かったと思います。 《木村》

◆佳 作 『満開のコスモス』 曾我 一彦
斜光線で輝く柿の実とコスモス。静かなオーソドックスな写真ですが、二つの被写体が見事に競演しました。 《橋本》

◆佳 作 『ハネ 分子』 成徳 恵美子
幾何学的な構成が大変面白いと思いました。六角形の濃淡に躍動感を感じました。 《木村》

◆佳 作 『光を閉じ込めた冬』 加藤 啓子
結晶の面白さと光の感じがマッチして、大変まとまった作品になったと思います。 《木村》

◆奨励賞（水口ライオンズクラブ賞） 『Capturing the Sun』 アムラオ アレサンドリア
茜空がソーラーパネルに映ることで画面に面白味が出たと思います。夕焼けが綺麗な日を選んで撮影されたのが良かったと思います。 《木村》

:写 真

会場: 碧水ホール

番号	賞	作品名	氏名	備考
		路地裏	木村 充宏	審査員
		ジュエリーアイス(北海道十勝川河口)	橋本 健次	審査員
1		功德を積む予感	服部 眞美子	甲賀市 甲南町
2	甲賀市教育委員会教育長賞	気嵐湧く自然湖	服部 眞美子	甲賀市 甲南町
3	佳作	ハネ 分子	成徳 恵美子	甲賀市 水口町
4		感動	成徳 恵美子	甲賀市 水口町
5		白い妖精	方山 豊	甲賀市 甲南町
6		二重の蝶	方山 豊	甲賀市 甲南町
7		晩秋の饗宴	岸上 廣司	甲賀市 信楽町
8		心をつなぐ	岸上 廣司	甲賀市 信楽町
9		平和への祈り	橋本 三千代	甲賀市 水口町
10		秋の聲	橋本 三千代	甲賀市 水口町
11	佳作	雨柱	安井 正宜	甲賀市 土山町
12		不動のしまかぜ	坂本 さち子	甲賀市 甲賀町
13		祈りの跡	奥村 英太郎	甲賀市 水口町
14		晩秋	奥村 英太郎	甲賀市 水口町
15		豊作を願う!	藤橋 勝治	甲賀市 甲南町
16		鶏鳴響き渡る 溪谷の朝	福井 富久	甲賀市 甲賀町
17		桜花乱舞す 古寺の香り(米原市徳源院)	福井 富久	甲賀市 甲賀町
18		注がれた秋	森岡 治夫	湖南市
19		一期一会	森岡 治夫	湖南市
20		炎の郷	西出 嘉治	甲賀市 水口町
21		夕映えの翼	松岡 清司	甲賀市 甲南町
22		厳冬のおくりもの	前出 正昭	甲賀市 甲賀町
23		テラスを照らす	中村 暎一郎	甲賀市 水口町
24		得意のポーズ	中村 暎一郎	甲賀市 水口町
25		ドキドキ、ワクワク	今元 久美子	甲賀市 水口町
26		ハイ・ポーズ	今元 久美子	甲賀市 水口町
27	佳作	みのりを夢みて	野口 泰子	大津市(甲賀市内サークル)
28		Layered Sky	野口 泰子	大津市(甲賀市内サークル)
29		光彩	酒井 哲二	甲賀市 水口町
30		静寂を切り裂く	木村 喜美子	甲賀市 甲南町
31		日常を支える職人	木村 喜美子	甲賀市 甲南町
32	甲賀市議会議長賞	ここから見る秋	中森 ますみ	甲賀市 水口町
33		花へ巡る命	中森 ますみ	甲賀市 水口町
34	佳作	神に捧ぐ	木村 実	甲賀市 甲南町
35	佳作	帰路	平田 永文	甲賀市 甲賀町
36		射る	平田 永文	甲賀市 甲賀町
37		浪漫	坂上 ミユキ	甲賀市 水口町
38		霊峰	坂上 ミユキ	甲賀市 水口町
39		あしたも晴れるかな!	成岡 幸和	甲賀市 土山町
40		静かな時間	成岡 幸和	甲賀市 土山町

番号 賞

41		悠久の寢床	前野 美恵子	甲賀市 土山町
42		神の庭を横切る風	前野 美恵子	甲賀市 土山町
43		里山に生きる	中嶋 秀子	甲賀市 水口町
44		絆でつなぐ	中嶋 秀子	甲賀市 水口町
45		豊作祈願	辻 孝弘	甲賀市 甲賀町
46	佳作	禊ぎ	山田 幸子	湖南市
47		しあわせ時間	山田 幸子	湖南市
48	甲賀市展賞	大人と一緒に頑張るぞー	山本 靖幸	甲賀市 信楽町
49		特急ひのとり	山本 靖幸	甲賀市 信楽町
50		おう!!	田中 和代	湖南市
51		向かう	田中 和代	湖南市
52	読売新聞社賞	終の棲家	浮田 千草	湖南市
53		ハンター	今村 寛子	甲賀市 水口町
54		なかよし	今村 真治	甲賀市 水口町
55	水口ライオンズクラブ賞	Capturing the Sun	アムラオ アレサンドリア	水口高等学校
56		白の季節	岩崎 柊也	水口高等学校
57		隠れ家	茂田 寧々	水口高等学校
58		椿	分部 陽菜	水口高等学校
59		雪余の下校	酒井 椿季	水口高等学校
60		華	浦滝 愛心	水口高等学校
61		青いぼくらの帰り道	福島 鈴奈	水口高等学校
62		空への線路	中村 恋	水口高等学校
63		橙	大塚 凜奈	水口高等学校
64		夜の影	堀池 あいな	水口高等学校
65		秋が降りそそぐ	塙 優紗	水口高等学校
66		雨に歩けば	佐竹 馨	湖南市
67	佳作	光を閉じ込めた冬	加藤 啓子	湖南市
68	佳作	満開のコスモス	曾我 一彦	甲賀市 水口町
69		落葉に集う園児たち	西川 英作	甲賀市 甲賀町
70		冬の朝	酒井 忠市	甲賀市 水口町
71		白列島	酒井 忠市	甲賀市 水口町
72		Plastic bags	植田 孝志	甲賀市 水口町
73		一月一日。	植田 孝志	甲賀市 水口町
74		厳冬の造形	西出 稔	湖南市
75	中日新聞社賞	静寂の番人	宮永 富士子	湖南市
		海苔網の詩	奥村 和弘	(無鑑査)
		古民家	初田 嘉次	(無鑑査)
		異空間	小谷 博司	実行委員(無鑑査)
		笠雲	中森 敏樹	実行委員(無鑑査)
		古都の朝	平田 慶治郎	実行委員

いこか 文化交流展示〈特別展示〉

広域連携による～いが・こうか・かめやま連携プロジェクト～の取り組みとして、文化関係では、市民の交流や文化芸術の交流を図るため、市美術展にそれぞれの市の最高賞を受賞した作品の展示を行っています。この相互展示を通し、更なる文化芸術意識の向上、文化芸術に触れる機会の増加につなげます。

今回は、昨年度(令和6年度)の第20回市展「いが」、第20回亀山市美術展、第20回甲賀市美術展覧会の最優秀作品が巡回展示されています。

また昨年度の甲賀市展賞の4点は、伊賀市と亀山市の美術展にて展示されます。ぜひ観覧にお出かけください。

◆ 巡回する作品 ◆

	部門	作品名	氏名
第20回 甲賀市展賞	平面部門	静物	太田 克美
	工芸・立体部門	火火花瓶	朝見 杏映
	書部門	漢詩句	西谷 萌
	写真部門	厳肅な朝	服部 眞美子
第20回 市展「いが」賞	絵画部門	煩惱	筒井 伸二
	彫塑工芸部門	上人坐像	前川 良雄
	書部門	国木田独歩の詩	中島 睦子 (雅号:中島 茜坡)
	写真部門	魔法のボール	川島 齊
第20回 亀山市長賞	絵画部門	冬、亀山橋より	山田 いづみ
	彫刻・工芸部門	陶箱	堀川 峰男
	写真部門	継がれる段影	小林 努

伊賀市と亀山市の展覧会情報

第21回市展「いが」

- 会期
令和8年3月18日(水)～22日(日)
- 会場
伊賀市文化会館
伊賀市西明寺3240番地の2
電話 0595-24-7015

第21回亀山市美術展

- 会期
令和8年3月9日(月)～15日(日)
- 会場
亀山市文化会館
中央コミュニティセンター
亀山市東御幸町63番地
電話 0595-82-7111

甲賀市美術展覧会実行委員会

〒528-0005 甲賀市水口町水口 5633 番地
甲賀市教育委員会事務局 社会教育スポーツ課文化係
(あいこうか市民ホール内)
TEL:0748-62-2626 FAX:0748-62-2625
E-mail: aikoka-hall@city.koka.lg.jp